

杜のコラム

「遊ぼう」というと、「遊ぼう」ついで。「ばかり」ついで。「もう遊ばない」というと、「遊ばない」という。/「そうしてあとで/さみしくなって/「ごめんね」ついで。「ごめんね」ついで。「ここだましあうか/いいえ、誰でも。」

金子みすゞは、一九〇三年山口県に生まれた。僅か五年ほどの間に五百編以上の作品を残し、若き童謡詩人の「巨星」と称されながらも、複雑な家庭環境から二十六歳の若さで自ら毒を仰ぎ、死を選ぶこととなる。多くの作品は散逸し、児童文学作家の矢崎節夫さんが探しあてて五十年余の時を経て再び世に送り出すまで、幻の詩人とある人もいるだろうか。詩人、金子みすゞの「こだましあうか。慈愛やさしさ。そんな風に

大切な文化財を守り伝える



去る1月26日(金)火災などから国の重要文化財を守る「文化財防火デー」に、五重塔周辺で火災が発生したと想定し、僧侶・職員一同がバケツリレーや消火器を用いて消火活動の訓練を行いました。

うか」という作品である。

生きるとは、きれいな」とばかり

ではない。苦しさ、つらさ、厳しさにつまずいた時、人は孤独を実感する。一番欲しいものは「共に」あるものであり、みすゞはそれを「ほとけさま」と表現した。「がんばれ」

より、「さびしいね」と寄り添つてもらえば、どれほど救われることか。強く願いながら、同時に悟っているのだ。それは己のうちにしか存在しないと。

テレビで耳にしたことがない人もいるだろうか。詩人、金子みすゞの「こだましあうか。慈愛やさしさ。そんな風に

八事山文庫

3003号

特集

三百回御遠忌によせて2~3ページ
八事の真実・現場の声(中綱)6ページ
早春特別コラム7ページ

4/5(木)

結縁灌頂(胎蔵界)

8時より三摩耶戒 9時より入壇開始

仏さまとご縁を結び(結縁)、仏さまの智慧の水を頭の頂に灌ぐ(灌頂)。興正寺では年に一度行われる真言宗の重要な儀式です。

入壇料 千円
西山本堂にて

4/21(土)・29(日祝)
午前の部 10時 午後の部 14時
十二参りの日

4/21(土)・29(日祝)
午前の部 10時 午後の部 14時
十二参りの日



興正寺が提供するラジオ番組「笑顔とノアワセおとそわけ」黒江美咲の「ふらつと街巡り」は@FMにて毎週木曜日11時30分から放送中の「mrs. bee-beat」の中に引越し、時間も拡大となりました。また、今いるエリアで放送しているラジオ局の番組を、パソコンやスマートフォンで聞くことのできるサービス「radiko(ラジコ)」にて、過去1週間分の放送をお聞きいただけます。
左記のアドレスよりアクセスしてください。

http://radiko.jp/

ラジオ「ふらつと街巡り」放送時間変更のお知らせ

毎週木曜:午前11時53分~12時00分

3/11(日)・9(金)・15(木)

毎月第1土曜・第3木曜
第2金曜・第4水曜

【無料】お坊さんダイレクト

各日10時~15時 完全予約制(各回50分ずつ)

仏事の疑問に僧侶がホンネで答える新スタイル相談会

墓じまい・仏壇じまいの疑問、永代供養・葬儀の相談などお気軽にお問い合わせください。

☆予約申込 公式ホームページまたは電話にて

■リユースのお知らせ

八事山文庫4月号より、紙面のリユースを予定しております。新しく始まるコーナーもございます。

どうぞ、楽しみにお待ちください。

興正寺開山和尚 III 天瑞圓照三百回御遠忌 — 興正寺開山天瑞圓照和尚に寄せて —

— 律寺としての興正寺 —

桝田 英伸

律寺としての興正寺の由緒を尋ねると江戸

時代寛保二年(一七四二)に書かれた『八事山

起立由緒書』にたどり着く。曰く、「宗旨は

南都西大寺興正菩薩の法流にして、本寺は

御除分にて成られ下され候事」と。興正寺は

西大寺、つまり真言律宗の流れであり、しかし

本寺・木寺の関係は免除されているとのこと。

これは尾張二代藩主・徳川光友のお言葉で

あり、当時としてもかなり特殊な位置づけの

寺だったようだ。

では興正寺を建立した初代開山・天瑞圓照

和尚はどういった想いだったのか。天瑞和尚は

若き日に、京都宇治の黄檗山萬福寺に逗留中、

またまた立ち寄った清らかな律僧に出会い、

授戒をしていない我が身を大いに恥じた。

そうして彼を師と仰ぐも律僧は辞退され、

代わりに自身の師僧を紹介した。江戸期に

復興した律三僧坊のひとつ、大阪和泉の大鳥山

神鳳寺。この寺を復興した快圓慧亮律师こそ

が、天瑞和尚が師と仰ぎ、菩薩沙弥戒を授

いた。天和二年(一六八二)、天瑞和尚は菩薩

三聚戒を受けて仏の姿を目の当たりにし、

佛舎利を得てする。律を守り抜くことで心身共に清らかとなり、戒を授かることで奇跡が

起きたのだ。

その後、親戚の縁を尋ねて名古屋の熱田に

来た時、八事に水豊かな良き土地があること

を知り、さらにここに住むことを勧められる。

八事の草庵に住まう天瑞和尚の徳風は人々

の知れるところとなり、多くの参詣者が集う

ように。やがてその声は尾張藩主・徳川光友公

の耳に届き、城へと招かれることになる。

元々、立派な僧侶たちを城に招いては仏道の

教えを乞うていた光友公。天瑞和尚に日頃の

疑問を尋ねると立て板に水、微に入り細に

入り、悩みを聞く。あまりの尊さに公は合掌

して三帰戒の受戒を請う。ついには尾張の大

導師としてこの地に留めるべく、正式な寺院

建立を許される。ついに律院として建立された、

八事山遍照院興正律寺。そこには、天瑞和尚

の戒律復興への熱い想いがある。今も伝わる

弟子たちに菩薩大戒を受けた証明書である

「誓牒」が多数伝えられている。日本全国から

天瑞和尚の元に駆け付けた僧たちの熱い想い

と、それをすべて包み込む天瑞和尚の真摯

さが今も溢れてくる。

はじめに

平成三〇年は、興正寺開山天瑞圓照和尚の三百回忌です。各地を歴訪する中で真言律宗の寺院建立を志し、縁あってこの八事の地に「八事山遍照院興正律寺」を創建した和尚は、いかなる人物であったのか。

寺に伝わる文物からそれを紐解き、一年にわたりご紹介します。また、今年の興正寺カレンダーでも同内容を掲載しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

— 天瑞圓照和尚の足跡をたどる(3) —

渡邊 正大

今日は、鑑真和尚と「戒律」についてお話をしたいと思います。

鑑真和尚は日本に「授戒」の制度を広めた奈良時代の中国の高僧で、ご存知の方も多いと思います。唐招提寺を創建した僧であり、日本における律宗の開祖としても有名です。鑑真和尚の来日以前も「授戒」はありましたが、不完全であり、授戒の重要性が長らく認識されていませんでした。そのため、「私度僧」といつて正式な授戒・得度を得ず勝手に僧侶を名乗る者も多々、修業することもなく堕落した者が数多くあります。その現状を憂いた朝廷が、中国より戒律の僧として高名であった鑑真和尚をお招きします。当時の来日は命がけの旅でした。十二年の間に五度も渡航に失敗し、その間に失明なさるなど数々の苦難を乗り越えて、六度目の渡航でようやく来日を果たされました。それにより不完全だった授戒の儀式が制度化され、仏教界の規律は守られるようになりました。

後者は、一般の檀信徒の方も受けることの出来る儀式です。仏教徒として守らなければならぬ十の戒め(菩薩十善戒)を誓う儀式です。

興正寺でも毎月二十一日の御影供において「授戒」を勤めております。ぜひ、ご参加いただけない十の戒め(菩薩十善戒)を誓う儀式です。興正寺としてのお心を新たにし、より深い仏縁を結ばれることをお勧めいたします。

三百回御遠忌にまつわる 行事案内

特別朱印帳

2,000円/1冊(特別朱印・専用カバー付)

記念植樹

開山和尚三百回御遠忌に際し、記念植樹のお申し込みを承ります(5,000円/1口)
(植樹する樹木を皆さまのお志で用意いたします)

※申込については、お電話または納経所にお問合せください

宝物展

興正寺開山和尚天瑞圓照三百回御遠忌を記念し、春と秋に宝物展を開催

5月8日(火)~11日(金)

興正寺の歴史を紐解く(仮題)

10月30日(火)~11月2日(金)

開山天瑞圓照和尚の足跡をたどる(仮題)

開山忌記念茶会

3月14日(水)10時~15時

濃茶席・薄茶席の二席

茶券 2,500円(当日券あり)



△鑑真御将来大衣記



△鑑真和尚の竺布

平成30年興正寺カレンダー

開山和尚三百回忌記念の特別なカレンダーです。當山の年中行事もご案内しております。納経所・各窓口で数量限定で無料配布しております。この機会に是非ご覧くださいませ。



興正寺開山和尚天瑞圓照三百回御遠忌法会のスケジュール

3月14日(水)

表中の数字は、下記「開山忌お勤め順路」中のお勤め場所です

9:30	西山本堂	出発
9:50頃	東山本堂	開山忌のお勤め①
		①弘法堂→②大日堂→ ③當山代々墓所→④能満堂と回り、 西山本堂へ
11:30頃	西山本堂	開山忌のお勤め②
12:00頃~13:00	普照殿・華宮	抹茶のおふるまい茶

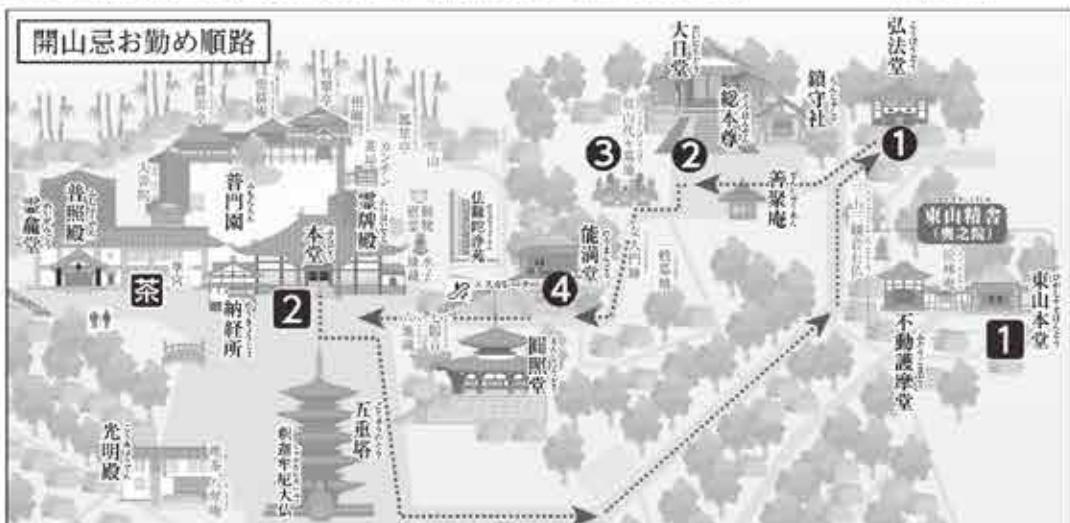
※お勤め(法会)は、どなたでもご参加いただけます

※三百回御遠忌のお勤めにご参加の方へ抹茶のおふるまいをいたします



△開山和尚肖像

開山忌お勤め順路



カレンダー連動企画 (3) 【第三回】—戒律との出会い— (平成30年3月カレンダーより)

天瑞和尚は修行の中で一人の律僧に出会い、その姿に深く感銘を受けて戒律を修めることを志した。そして本庵禪師の元を離れ、当時、佛教戒律復興の中心であつた和泉国大鳥山神鳳寺の真政和尚、快圓和尚に侍した。そこで多くの兄弟弟子と学び、真政和尚から元真に伝わつた「鑑真和尚の竺布(一拾五条御袈裟)」を授かつたと伝えられている。

二十五条の袈裟は「三衣一鉢」の二つで、三衣とは、下着にあたる安陀会(五条)、平素に着る鬱多羅僧(七条)、儀式や訪問時に着る僧伽梨(九条から二十五条)をいふ。

高僧として知られた鑑真和尚の袈裟を授かつたといふことからも、天瑞和尚への期待の高さが窺える。

和泉国大鳥山神鳳寺は、天平十二年(七四〇)

明忍律師らが戒律復興した山城国平等院(西明寺)、その法孫たる慈忍律師によつて復興された河内国野中寺、同様にその法孫というべき真政律師によつて興された和泉国神鳳寺の三ヶ寺は、江戸期に天下の三僧坊と讀えられ、多くの傑僧が輩出された寺院である。

行基菩薩を開基とすると伝えられている。神鳳寺の建物は現在の大鳥神社境内の東側に配置されていたが、明治初年の神仏分離により廃絶し、現在はつかがうことができない。佛教における戒律の復興は、一度は鎌倉時代に起つたが破戒僧ができるなどして定着せず、江戸時代に再び復興の動きをみせることとなつた。

△行基菩薩



△興正寺の場所を教える際にも、目印となっている札幌かに本家八事店。



△客席からは、滝が流れ鯉の泳ぐ池のあるお庭も。風情ある素敵なお庭。



●森 隆博さん

入社10年目。〈かに供養〉の際はもちろん、店長を任せられるようになってからは、季節の節目には興正寺を訪れ、参拝されている。

「虫の光」は一八八一年に発表された翻訳唱歌で、もともとはスコットランド民謡に、当時東京師範学校の教員をしていた稻垣千穂が作詞しました。多くの方が耳にしたことのあることを知らない人も多いのですが、三・四番は戦争の時代を映しているとされ、今は扱われることもほとんどないようです。最近では卒業式の歌も明るいポップソングが主流となっているようですが、歌い継がれる歌のなかなと思います。

地下鉄八事駅から興正寺に向かう途中、目に止まる大きな蟹の看板。興正寺の縁日を訪れた人や、法事の方も多く訪れるお店だ。今回はその札幌かに本家八事店の店長・森さんにお話を伺った。

札幌かに本家では、毎年かに漁が解禁される秋にお店のある各地域で〈かに供養〉というものが開催されており、中部地区の〈かに供養〉は、興正寺で行われる「そもそも〈かに供養〉が行われるようになったのは、社長が大阪かに道楽の板前だった時代、当時の常務の発案でした。常に感謝の気持ちを大事にする社長は独立後も、蟹への感謝と繁忙期に向けた社員の士気向上のため、〈かに供養〉を続けられています。」と、森店長さらに、「最初の

妻、ねねの御靈屋がある高台寺に祀られており、そのことを名古屋まつり・三英傑行列に、ねねの参列要請運動を社長が行っていたタイミングで知ることになり、殊更ご縁を感じて〈かに供養〉をより大切に思われたそうです。」と教えていただけた。

札幌かに本家八事店は、昭和五十四年三月に興正寺の隣で開店した。当時は、飯田街道に面して車通りが多いものの、青々と樹木が生い茂る人通りの少ない道で、やってみないと流行るかどうかわからない印象の立地だったそうだ。このエリアはアーモリー層が多い地域であり、興正寺の縁日や法事などの後にご利用を続けています。既存店の中で最も長く営業

しており、繁盛店として評価いただいている。

札幌かに会席(二九二六円「税込」)を用意

十三日の平日限定(十時~十四時まで)で、

縁日かに会席(二九二六円「税込」)を用意

させているんです」とのこと。今後

の展望をお聞きすると「これからもこの情緒

ある雰囲気の中で、当店の絶品かに料理を楽しんでいただけるよう、そして、興正寺さんの

ようなこの地域のランドマークのような存在となれるよう、地域の皆さまに愛されるお店づくりを続けていきたいと考えています。」

千島の奥も沖縄も 八洲のうちの まもりなり
いたらん国にいさおしく つとめよわがせつつがなく
【虫の光】唱歌／スコットランド民謡

その真心はへだてなく ひとえに近くせ 国のため
筑紫のきわみ 陸の奥 海山遠くへだつとも
とまるも行くも限りとて 互みに思つ 千万の
心のはしをひとことに 幸くとばかり歌うなり

虫の光 窓の雪 書読む月日 重ねつ

いつしか年も すぎの戸を開けて そ今朝は別れゆく

と、語る森さん。さらに「興正寺で縁日のある

日は、特に大勢のお客さまに来店いたします。

と、語る森さん。さらに「興正寺で縁日のある

日は、特に大勢のお客さまに来店いたします。

と、語る森さん。さらに「興正寺で縁日のある

日は、特に大勢のお客さまに来店いたします。

親子で読みたい
ことのはあそび

「身口意」

身体・言葉・心。この三つ

を同時に高めていくことが

大切だというお大師さまの

教えの一つです。

このコーナーでは、声に出し

て誰かに聞かせてあげたい

言葉たちを毎月紹介し

ていきます。

地域版

人と街とお寺をつなぐ場所
八事山文庫

弥生

旧暦二月のこと

啓蟄

三月六日

春分

三月二十日

「身口意」
身体・言葉・心。この三つ
を同時に高めていくことが
大切だというお大師さまの
教えの一つです。

このコーナーでは、声に出し
て誰かに聞かせてあげたい
言葉たちを毎月紹介し
ていきます。

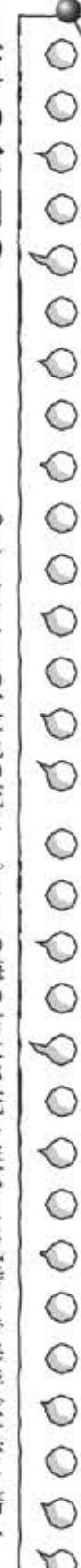
八事のお山には、散歩にお勧めの道がいくつもあります。メインは何と言っても西山本堂へ向かう参道でしょう。五重塔や平成大仏さまがお迎え下さるお寺の道です。でもこの季節、まだ寒さの残る浅い春にお勧めなのは、「春呼ぶ道」でしょうか。「ます咲く」が名前の由来と言

八事のお山には、散歩にお勧めの道がいくつもあります。メインは何と言っても西山本堂へ向かう参道でしょう。五重塔や平成大仏さまがお迎え下さるお寺の道です。でもこの季節、まだ寒さの残る浅い春にお勧めなのは、「春呼ぶ道」で

タ一か厄除け階段へ進みます。植栽に開まれ、濃い

さあ、八事のお山から、新鮮

八事のお山の 昨日 今日 あした…



●甘味・食事処「八琴庵」より



5・13・21日限定

季節のそば(3月)

山菜蕎麦

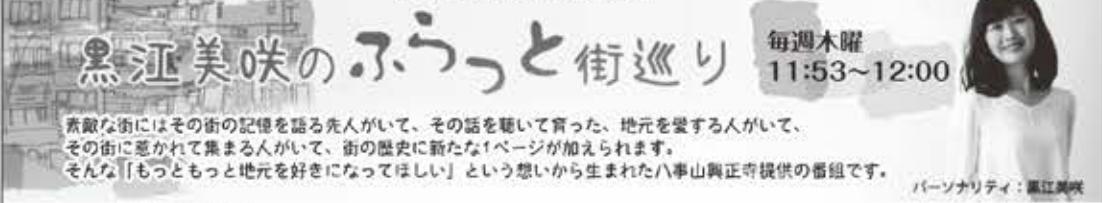
自然の恵みがたくさんつまつた栄養満点の山菜。温かいお蕎麦にたっぷり入れました。独特の風味をお楽しみください。

八琴庵 営業時間と定休日のお知らせ

営業時間 10:00~16:00 (L.O.15:30)
定休日 毎月5日を過ぎた火曜日(3月は3月6日(火))

@FM80.7に、知っているお店が登場するかも?! 八事山興正寺の提供でお送りするFM番組!

笑顔とシアワセおもそわけ



素敵な街にはその街の記憶を語る先人がいて、その話を聽いて育った、地元を愛する人がいて、その街に惹かれて集まる人がいて、街の歴史に新たなページが加えられます。そんな「もっともっと地元を好きになってほしい」という想いから生まれた八事山興正寺提供の番組です。

パーソナリティ: 黒江美咲

1月25日 放送 ことぶきや (天白区八事石坂202 TEL: 052-833-9438)

11:30~15:00 (L.O.15:00) 17:00~22:00 定休日: 日曜日・祝日

地域の人々に愛される、昔ながらの定食屋さん。80種類もある豊富なメニューと、お財布にやさしい価格が魅力的。

ランチでは味噌カツやホルモン定食が人気とか。学生時代からのファンも多く、毎日通っても飽きないお店です。

2月1日 放送 パティスリー・アヴァロン (天白区八事石坂208 TEL: 052-835-0024)

10:00~19:00 定休日: 火曜日・第3曜日

フランス菓子を中心とした「こだわり素材の真心込めた手作り」がモットーのお店。厳選素材から作られるお菓子は、見た目も味も格別。パリで修業を積んだオーナーシェフが作るスイーツは、1口で幸せな気持ちにしてくれます。大切な人のお祝い事や、自分へのご褒美に。

2月8日 放送 鶴飯 八事バード (昭和区広路町字北石坂102-11 TEL: 052-835-7877)

17:00~24:00 (L.O.23:00) 定休日: 不定休

名物「鶴飯」はメにもサラサラいけちゃう1品。鶴ガラスープをかけてお茶漬け風にも♪手羽揚寅テキンはカリカリと辛ピリピリの2種類が楽しめます。お一人さまでも気軽に立ち寄れるお店。仕事帰りに一杯いかがですか?

2月15日 放送 かるだもん (昭和区広路町字北石坂102-42 TEL: 052-835-5004)

11:30~14:00 (L.O.) 18:00~21:30 (L.O.) 定休日: 不定休

小麦粉を一切使用せず、たくさんのスパイスと手作り野菜が入った体に優しいカレーを提供しています。店内で使用している物はスパイスからすべて購入可能。他店とは一線を画す唯一無二のカレー屋さん。

2月22日 放送 Coffee&Bar Sala (昭和区山手通5-22-1 TEL: 052-832-2509)

9:00~21:00 (L.O.20:30) 定休日: 日曜・祝日・年末年始

バラのモチーフが溢れるかわいいらしい店内には、奥さま手作りのステンドグラス作品が。注文を受けてから1杯ずつ豆を挽いて淹れるコーヒーは香りが良く深い味わい。14時からはすべての飲み物にシナモンストローが付くのも嬉しい。

CHECK! radiko.jp 今いるエリアで放送しているラジオ局の番組を、パソコンやスマートフォンで聴くことができるサービスradiko(ラジコ)にて、過去1週間分の放送を聴くことができます。こちらのアドレスよりアクセスして下さい。http://radiko.jp/

ラジオはこちらのページからもお聞きいただけます。http://fma.co.jp/f/prg/machimeguri/

仏事の

ひ、ふ、み、



仏事のこと、なんでも知ってるよって人はいますか？
自信をもって手を挙げられる人は少ないんじゃないのかな。いざその時になってみるとわからない仏事のあれやこれ、お坊さんに聞いて一つずつ解決しちゃいましょう。

その38 厄年のおはなし③ 数え年(全3回)

「厄年」について考えてみようか。
厄年とは生きている中で何らかの厄難に遭遇する恐れの多い年齢のこと。
節目という意味もあり、「その一年は体も心も変わり目の年なので、何事も慎重に進めなさい」という古くからの教えだね。



何だか悪いことが起こりそうで怖いです…



いいこともあるれば、悪い事もあるよね? 反対に悪い事ばかりも続かないよね。厄は、厄年の人だけではなくその周囲の人にもめぐってくるものといわれているよ。自分を守って厄をよけてくれる「星祭」の御札。家族ひとりひとりが御札をお祀りすれば、めぐってくる厄からも守ってもらえるね。



御札があると安心ですね!



興正寺ホームページではもっと供養のことわざがわかつちゃいます。トップページから、「仏事とお墓のお悩み解決」をクリック!

これから地域社会への貢献の在り方について

100年先を描く八事論壇

その開創の歴史より学問修行の伝統を受け継ぐ、興正寺の興正寺による興正寺のための論考です。私たちは常に先を見据えて考え続けます。

これから寺が担うべき地域社会への貢献について考えためには、そもそも寺院が担つてきる役割を多角的に考える必要がある。はつきり言えるのは「もはや宗教儀礼だけをやつていればいい、という時代ではないことだ。もちろんそれらを軽んじるつもりは毛頭ないが、それ以上に「地域にいかに開かれた寺か」「現代人の求めに応じられる寺かどうか」といった視点で模索することこそが今後重要な課題となるに違いない。

かつて、寺院は法事を行うためだけの場であった。一般には「死ぬ時にお世話になるところ」「抹香臭い、縁起の悪いところ」といったマイナスイメージすらあつた。そういう寺院空間を開放して展覧会やコンサート会場に使おうといった動きが一九八〇年代の半ば頃から始まる。当初は「なんなること」といったお叱りの声などもあり、様々な軋轢もあつたが、先進的な考え方の寺院が後に続き、やがて燎原の火の如く全国に波及してゆく。今では若い僧侶や世俗の人が中心と

なつて「寺フェス」なるものも人気となつてきている。

ただ「どう解放すべきか」は今後の課題となる。昔前は、たとえば「お寺でロックコンサート」のようなミスマッチがもてはやされた。しかしこれらを喜ぶ世代は、実は五十年代以上とのデータもある。つまり、お寺でイベントが開始された頃に若かった

八事山興正寺 寺院経営総合研究所

ますだえいしん
柳田英伸

1995年、京都・佛教大学卒。京都・法然院、鎌倉・長谷寺など東西に巡錫した後、2012年、ここ興正寺に。創建來の「学問寺の伝統」を体現する碩学として、各種講座や法話・絵解き・座禅指導等、教化布教の中心を担う。著作に『絵本極楽』(風濱社、2009年刊)ほか。



人たちだ。では、現代の若者は寺に何を求めるのだろうか?ある学者いわく「現代の若者が寺に求めるのは、茶道、華道、書道などの伝統的な文化という傾向がある」という。これはつまりは「かつて近所の教室で習えた伝統文化のたしなみが、もはや寺以為るべきか?地域全体を良くしてゆく要となるためには、今、何をすべきか?「市場調査」を重ね、飽くなき探求心と試行錯誤の結果として、多くの人々が足を運ぶ寺となることが望まれる。

要がある。地域のなかで寺がどうあらわれるべきか?地域全体を良くしてゆく要となるためには、今、何をすべきか?「人生に寄りそう姿勢」として、また「人生に寄りそう姿勢」として、葬儀や法事などいわゆる「死」にまつわるものだけでなく、安産祈願、七五三、合格祈願など人生の節目ごとの御祈祷を積極的におこない、ゆりかごから墓場まで「参詣者の人生に寄り添える仕組みを作り上げている。

そこで興正寺では、寺の在り方そのものを真摯に振り返り、三つのスローガンを掲げている。「今を生きる寺としてなによりも「地域に開かれた

なく、今や寺に求められているのは「日本の伝統文化を保持・継承している場であり、学ぶことのできる場」ということではないだろうか?しかし住職の独りよがりの発信では、周囲にどこまで通用するのか。成功の為には、まず何よりも住職が心を開いて協力者を仰ぎ、地域へ周知しつつ、皆と共に成し遂げてゆく必

べる。また宗教的なものばかりではなく、茶室・竹翠亭を活かした月金、各種催しや「子ども寺子屋」など、広く地元の方々に境内を開放して大々的に行う「八事の杜の春まつり」は名古屋市昭和区の区民祭りとして毎年継続しており、興正寺がいかに地元の方々の信任を得ているかの証左とも言えよう。夏休みのラジオ体操も、ただ体操をするだけでなく本堂でのお経、法話に境内掃除にも任意で参加いただき、未来を担う子どもたちに仏教流の躰を行い、他では得られない貴重な夏休みの思い出を提供している。

いずれの取り組みも「これでいい」という回答はない。各方面に目を開き耳を傾け、試行錯誤の連続である。しかし僧侶職員一同、一丸となつて最前を尽くしているからこそ、多くの檀信徒、地域の方々も信頼し足を運んでくださるのだろう。これからも私たちは、地域社会への貢献の在り方について模索してゆく。

●編集部注:本論稿は昨年『高野山時報』新春号の為に寄稿されたもの。然し、同誌から「高野山と興正寺は係争中であり何れにも与しない」とことで掲載見送り連絡を丁寧に戴きました。然し価値ある論考を公表する為、この場をお借りしました。

寺」として積極的に寺外の方々と繋がりを作っている。寺内外の講師による講座を多数開催する一日間限定の春のカルチャースクール「さくら力レッジ」では、広い地域へ告知をおこなって「寺フェス」なるものも人気となつてきている。

まず一つ目。寺は死のイメージを持たれやすいが、興正寺では「今を生きる人のため」に僧侶たちが「写經」「阿息観」「御詠歌」など様々な講座をおこなつて「寺フェス」なるものも人気となつてきている。

寺。いずれも「言葉は易く、行うは難しだが、これらを軸に運営している。まず一つ目。寺は死のイメージを持たれやすいが、興正寺では「今を生きる人のため」に僧侶たちが「写經」「阿息観」「御詠歌」など様々な講座をおこなつて「寺フェス」なるものも人気となつてきている。

まず一つ目。寺は死のイメージを持たれやすいが、興正寺では「今を生きる人のため」に僧侶たちが「写經」「阿息観」「御詠歌」など様々な講座をおこなつて「寺フェス」なるものも人気となつてきている。

三月といえは「ひな祭り」。現在は女児のすこやかな成長を祈る年中行事ですが、元は季節の節目に穢れを祓う行事でした。

中国から伝わった五節句の一つである上巳の節句は、三月上旬の巳の日に、草や藁で作つた人形で自分の体を撫でて穢れを移し、それを川に流すことで厄払いや邪氣祓いを行つものでした。それと貴族階級の女児の間で流行つていた、紙の人形を使つた遊び、今まで言うところの「おままごと」(「ひいな遊び」)が結びついて「流し雛」が誕生しました。そして江戸時代には、「上巳の節句」を三月三日と制定して女児の健やか成長を願う日とし、五月五日を男児の日としました。またこの頃には人形作りの技術が向上し、人形を川に流すのではなく家で飾るように変化していきました。

ひな祭りには男雛と女雛を中心様々な道具類が並べられます。これらは婚礼の時に持つていくもので、その中に、色とりどりに彩色されたままぐりが入つた「貝桶」があります。平安時代から伝わる遊び「貝覆い」(現在は貝合わせという)の道具で、一对の貝の中に

*普門園・拂觀券は五百円(星茶付)
五百円(星茶付)
拂觀券は「納経所」でお求めいただけます



▷貝合三月節会之図

(川村)

三月の節会に集つた女児たちが貝合わせで遊ぶ様子がほのぼのと思い起こされる、優しい絵です。これを描いた木村金秋は、尾張藩士橋本義俊の第四子で、幕末から明治にかけて活躍した日本画家。森高雅に上佐派の画法び、古典の研究をよくし、藤原信実、田中謡言に私淑して一家を成しました。

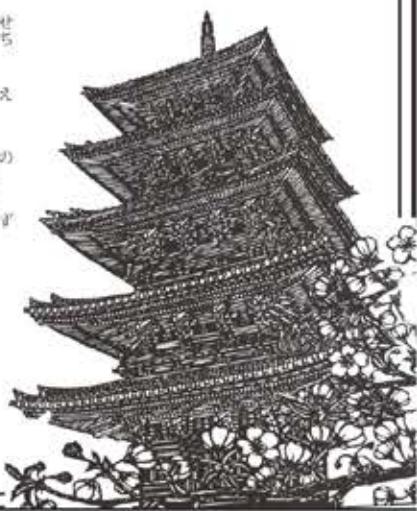
(川村)

三月といえは「ひな祭り」。現在は女児のすこやかな成長を祈る年中行事ですが、元は季節の節目に穢れを祓う行事でした。

同じ絵を描き、トランプの神経衰弱のようにから、夫婦和合の象徴として大切に扱われ、花嫁行列の最前列で運ばれ、嫁家に手渡されました。

寺宝公開⑨ 貝合三月節会之図

寺
通
心



開山忌記念茶会について

興正寺の開山天瑞圓照和尚の遺徳を偲び、毎年開山忌に開催。濃茶席と薄茶席をお楽しみいただけます。

- ◆日 時 3月14日(水) 10時~15時
※14時までに受付をおすませください
- 濃茶席 裏千家 伊藤宗觀
薄茶席 裏千家 小塚宗康
- ◆場 所 茶室 竹翠亭、耕雲亭
- ◆茶 券 2,500円(当日券あり)



竹翠亭で楽しむ季節のしつらい

—桃花の室礼—

- ◆日 時 2月27日(火)~3月8日(木)
10時~16時
- ◆場 所 茶室 竹翠亭
- ◆茶 券 500円
(抹茶と季節の和菓子付)



竹翠だより

お茶が教えてくれた
あわせ

茶室にとつて茶花は季節を表す大切な
な物の一つです。

十一月の炉開きから晩春まで、花の
少ない季節に美しい花を咲かせ、常緑
である椿は、一種生けから根占と使え、
茶花の女王と称されるほど欠かせない
花です。

椿は、日本を代表する花で学名カメ

リア・ジャボニカと言い、西洋文化にも大きな影響を与え
ました。

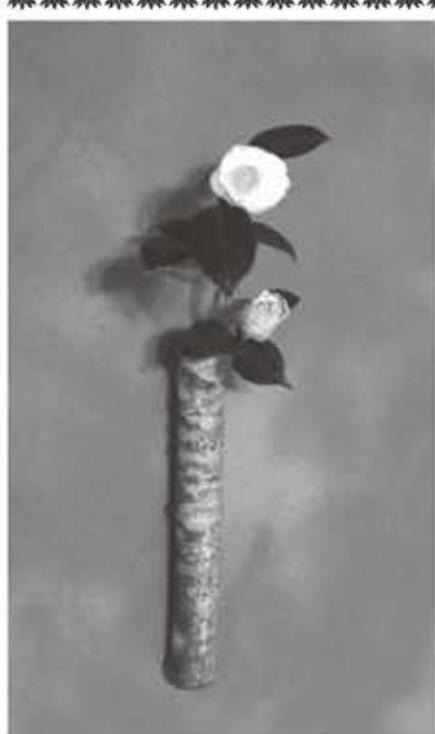
万葉集には椿を詠んだ歌が九首あり、利休も茶花に
紅白の椿を好み、江戸時代には徳川秀忠が花畠を作つて
多くの椿を献上させた為、品種改良種が発展し、今では
日本国内に千種以上があります。

竹翠亭で生けている椿は、花は野にあるようにと説いた利休に習い、境内や里山で探しします。

私も、日々勉強しながら生けさせて頂いております。
ただ、自生していた花を生けたときは椿の名をお尋ね頂いて
ても答えられないこともあります。申し訳ないのですが。

どうぞ竹翠亭にお越しitただく際、生けてあるお花にも
心留めていただけたら嬉しいです。

「茶花」



八事山歳時記

◆初弘法・授戒

今年初めての弘法大師縁日、初弘法に合わせ弘法堂にて授戒が行われました。暗闇に閉ざされた御堂の中、参加者は仏さまの示された十箇条の戒め(菩薩十善戒)を僧侶から直接授かりました。



◆文化財防火デー

一九四九年一月二十六日、世界最古の木造建築物として知られる法隆寺金堂から出火し、貴重な仏教壁画(七世纪末ごろ)の大半が焼損。これを機に、文化財保護法が制定され、国民の文化財への愛護精神を高めるため、一月二十六日を「文化財防火デー」と定められました。

では、毎年昭和消防署とともに防火訓練を実施し、境内での参拝者の安全確保と文化財の保存に努めています。



◆節分厄除祈祷会

去る二月三日、西山本堂にて節分厄除祈祷会が厳修されました。

御祈祷参加者は陣羽織を着用し、僧侶がお二人ごとに行う、厄払いの加持・祈禱を受けた後に「福は内!、福は内!」の掛け声とともに、堂内の多くの人たちに向かって、福豆を力いっぱい投げ、「福のおすそわけ」の豆を受け取った方々は、満面の笑顔となる一日でした。



今月の興正寺さん



昭和区在住
はると君ファミリー

興正寺マルシェには、夢中で遊んでいますほぼ毎回足を運んでいよい。と、はると君ママがるというへると君ファミリー。ママは普段も、さんがもう少し大きくなり。ママは普段も、興正寺境内にある静かなつたら、今度は兄妹でで過ごしやすい八琴庵一緒に、興正寺で仲良くをよく利用しているそ遊んでほしい。



昭和区在住
ソル君ファミリー

興正寺マルシェには、自然も水場もあるのは、自然も水場もあるの入りなんです。興正寺には、自然も水場もあるの入り nº 1

◆結縁灌頂

灌頂の種類は多様で、中でも僧俗を問わざどなたでも金剛界・胎藏界の諸仏と縁を結ぶことが出来る灌頂を特に「結縁灌頂」と言います。受者は印と真言を授けていただき、その両目を覆われ、曼荼羅へと導かれます。そして花を曼荼羅に投げる事によって曼荼羅の諸仏と「仏縁」を結びます。次に如来の智慧の水を阿闍梨さまより注いでいただきます。そうする事によって煩惱の中をさまよっている我々に道しるべなく、他の縁日にも足を運ぶという。「子どもの頃よりも入りやすい雰囲気になり、色んなイベントも増えて、昔はお年寄りが多いイメージでしたが、若い人もたくさん集まっていて良いですね。」と奥様は語る。この

愛嬌タップリ、通り過ぎる人からも人気を集めているフレンチブルドッグのソル君。飼い主であるご夫婦の奥様は、初めての興正寺だった。「妻から聞いていた通じて、旦那様とソル君は、初めての興正寺だった。」と旦那様。ソル君と一緒に、初めての興正寺を満喫していました。興正寺では毎年4月5日に「結縁灌頂」を開催しております。どうか一人でも多くの方にお勧めいただき、この尊い仏縁にお触れいただ



たかのしおせい
高野正清

興正寺では毎年4月5日に「結縁灌頂」を開催しております。どうか一人でも多くの方にお勧めいただき、この尊い仏縁にお触れいただき、心豊かで幸福な毎日をお祈りいたします。

3月の興正寺講座



※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

佛讃歌

御詠歌上級

3月7日・27日 13時30分より

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

講師 鈴村隆弘

光明殿

御詠歌初級

3月10日・16日・21日 14時より

金剛流御詠歌の初級講座です。21日は本堂出仕。

講師 鈴村智弘

光明殿

御詠歌入門

3月3日・17日 14時より

金剛流御詠歌の超入門、お作法や符の読み方からはじめます。

講師 鈴村智弘

光明殿

体験する

講師 杉浦宣秀

3月10日・30日 14時より

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっております。誰でも心地よくリラックスできますよ!

阿字観

講師 杉浦宣弘

3月は休講です

奥之院

真言密教の基本的な瞑想法です。阿字観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

写経・写仏

講師 榊田英伸

3月21日 11時より

光明殿

毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。13時より法話あり。

学ぶ

佛教入門講座

講師 森田泰澄

3月29日 14時より

普照殿

難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

仏典読み解き講座

講師 榊田英伸

3月は休講です

普照殿

仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著『往生要集』を読み解いていきます。

健康づくり

ゆらゆらペアストレッチ

講師 町田一寿

3月13日 ①10時②11時30分より

普照殿

支具料1,000円(予約優先・当日参加可)

TERA-YOGA(寺ヨガ)

講師 西口のぞみ

3月21日 10時より

普照殿

支具料2,000円(要予約・メ切前日17時)

マタニティヨガ

講師 西口のぞみ

3月は休講です。

普照殿

支具料2,000円(要予約・メ切前日17時)

遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。時間や講座内容については、竹翠亭へお問い合わせください(全て要予約)。

写 経

3月8日

講師 西山海良

支具料1,500円

阿息観

3月27日

講師 西山海良

支具料1,500円

日々折々の書

3月26日

講師 中村 均

支具料2,000円

水墨画

3月30日

講師 山田静舟

支具料2,000円

きもの装い(入門・応用)

3月7日

講師 小泉美代子

支具料2,000円

茶の古典を読む

3月1日

講師 榊田英伸

支具料1,500円

御詠歌上級・初級・一日修養会を除くすべての講座でWEB予約が可能となりました。興正寺公式ホームページ「まなびの講座WEB受付」よりお申し込みください。

八事今昔物語

～そこにお寺のある暮らし⑦～

春めいた日差しが感じられる今日この頃になりました。旧暦で言う今年の正月朔日は、カレンダー上の2月16日(金)になります。立春を遙かに通り過ぎていて、その3日後が雨水(雪が雨に変わるという二十四節氣)。旧暦を使っていたら、きっと暖かいお正月だったでしょうね。現代の私達には、平成30年は春の到来が遅くて、しかも短く感じてしまう年かもしれません。

気持ちが浮き立つ正月が過ぎ、お飾りや鏡餅を片付け、節分も無事に終えたら気持ちはすでに日々の暮らしに懸命です。寺には正月飾りを持ってこられる方が多いのですが、古札納めを正月飾りのゴミ箱のように思う方がおられるようで…。鏡餅が鏡開きもせず、そのまま入って

いたり、あるいは空の容器だけが入れてあったり、はたまたよその神社のお守りが入っていたりしていて驚きます。小正月(1月15日頃)の頃行われる「どんど焼き」と、古札などの御焚き上げは別の行事です。本来、神仏からの頂き物は感謝の気持ちを込めて元へお返しするもの。御焚き上げは、精抜き後、神仏への御礼と共に供養する大切な宗教行事で、不要になったからと燃やす事ではありません。興正寺では、3月の彼岸お中日に「人形仏具供養会」を行い、大切な気持ちが宿る物への感謝を伝えます。懸命に選んで求めたお飾りやお守りを、最後まで大切に扱い、見送るのはご先祖さまから日本人が伝えてきた、これからも大切したい気持ちです。「暦」を見て良い日を選び、行事によってけじめを付け、気持ちを新たに日々を過ごす…。今回は少々お小言のようすみません…。でも、お寺は人々に、昔から大切にされてきた行事を通して、日常に埋もれている感謝の気持ちを思い出していただける、絶好の場所なのです。(井上)

興正寺行事カレンダー

3月

普門園拝観(竹翠亭利用)時間 10:00~16:00
休園日(休業日)/10日(土)・12日(月)・14日(水)・17日(土)・
23日(金)・24日(土)・25日(日)・29日(木)・31日(土)

月	火	水	木	金	土	日
26 大安	27 赤口	28 先勝	1 友引 ▽遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 樹田 英伸	2 先負	3 仏滅 ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘	4 大安
5 赤口 ○大隨求明王 緑日 露店アリ 10:00 千支成満巡り ○能満堂秘仏開扉 10:00 開扉法会 拝観は13:00まで	6 先勝 啓蟄 ★八事庵定休日 ★永代供養受付定休日	7 友引 戌の日 ○安産合同祈祷会 14:00 本堂 ▽遊翠の心 きもの装い 初級 10:00 中級 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘	8 先負 ○大日如来縁日 12:30 大日堂 理趣分經祈禱 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良	9 仏滅 大日如來	10 大安 ☆一日修善会 10:00 光明殿 要予約 ▽阿息觀 14:00 普照殿 杉浦 宣秀 ▽御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘	11 赤口
12 先勝	13 友引 ○虚空藏菩薩 緑日 露店アリ 10:00 法話会 10:00 千支成満巡り ○能満堂秘仏開扉 10:00 開扉法会 拝観は13:00まで ☆ゆらゆらペーストレッヂ 10:00/11:30 普照殿	14 先負 ○興正寺開山和尚 天瑞圓照三百回 御遠忌法要 9:30 ★開山忌記念茶会 10:00 竹翠亭	15 仏滅 ○東山 奥之院縁日 13:00 奥之院 善之綱おくり	16 大安 ▽御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘	17 友引 ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘	18 先負 ○觀世音菩薩縁日 13:00 觀音堂 護摩祈禱/法話 ○永代祠堂法会 招待制 西山本堂 ○彼岸合同供養会 西山本堂 8:00/16:00 圓照堂 8:00/10:00 11:00/14:00 15:00/16:00
19 仏滅 戌の日 ○安産合同祈祷会 15:00 本堂	20 大安	21 赤口 春分 春分の日 ○弘法大師縁日 10:30 弘法堂 読経/法話 ○月並御影供 14:00 本堂 ▽写経写仏講座 11:00 光明殿 ★TERA-YOGA 10:00 普照殿 要予約 ○興正寺施主慰靈法会 9:30 西山本堂 ○人形仏具供養会 13:00 光明殿 ○動物慰靈法会 14:30 本堂前 ▽御詠歌初級 14:00 本堂出仕	22 先勝	23 友引	24 先負 ○地藏菩薩縁日 13:00 能満堂 大数珠おくり/ 紙芝居	25 仏滅
○彼岸合同供養会 西山本堂 8:00/11:00 13:00/16:00 圓照堂 8:00/10:00 11:00/14:00 15:00/16:00	西山本堂 8:00/11:00 13:00/16:00 圓照堂 8:00/10:00 11:00/14:00 15:00/16:00	西山本堂 8:00/11:00 13:00/16:00 圓照堂 8:00/10:00 11:00/14:00 15:00/16:00	西山本堂 8:00/11:00 13:00/16:00 圓照堂 8:00/11:00 14:00/16:00	西山本堂 8:00/11:00 13:00/16:00 圓照堂 8:00/11:00 14:00/16:00	西山本堂 8:00/11:00 13:00/16:00 圓照堂 8:00/11:00 14:00/16:00	○地藏菩薩 弘法大師 興正寺マルシェ
26 大安 ▽遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	27 赤口 ▽遊翠の心 阿息觀 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘 ★永代供養受付定休日	28 先勝 ○不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話	29 友引 ▽仏教入門講座 14:00 普照殿 森田 泰澄	30 先負 ○阿息觀 14:00 普照殿 杉浦 宣秀 ▽遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	31 仏滅 戌の日 ○涅槃会 14:00 本堂 ○安産合同祈祷会 14:00 本堂	1 大安 ○第4回 興正寺さくらカレッジ

第4回 興正寺さくらカレッジ 3月31日(土)・4月1日(日)

学問・修行の寺としての成り立ちを今につなぐ“チャリティ公開講座”として
皆さまからの寄付は皆さまの想いの橋渡しとして毎年恒例となり、地域の施設からお喜び
いただいております。本年もふるってご参加ください。

受講応募について詳しくはチラシ・
公式サイトをご覧ください。

受講生
募集